

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	併設のデイサービスとの合同避難訓練を行っているが、夜勤専門の職員を含めた、夜間帯を想定した綿密な避難訓練が充分に行えていない。	夜間災害時等の職員の役割分担を明確にし、各職員の動線や、所要時間のシミュレーション等をマニュアル化していく。また消防署との連携を強化していき、入居者の安心、安全に繋げていく。	マニュアル化に伴い、消防署より避難時のアドバイスを受ける。その後、夜勤専門の職員を含めた夜間想定避難訓練を定期的実施していく。	12ヶ月
2	26	モニタリングに基づいた介護計画の見直しが充分ではなく、提供したサービスの評価を次回の介護計画に活かしてきていない。	提供したサービスに関する評価を行い、モニタリングに基づいた介護計画を作成する事で、常に入居者の現状に即したサービスを提供できる様にしていく。	現在までに介護計画を作成する上で未使用だった「居宅サービス計画書第2表」を使用し、モニタリングを実施することで、次の介護計画に反映できるようにする。	3ヶ月
3	2	町会に加入しており、敬老会等には参加できているが、地域の方との交流範囲が限定的なため、地域として相互に助け合う関係がまだ充分ではないと思われる。	地域の町会長や民生委員、学校やボランティア等、地域を支えている方々との交流を図り、新たな関係を構築していくことで、今まで以上に地域に開かれた施設を目指していく。	運営推進会議を窓口には様々な地域の方と交流を図り、当施設の地域での役割やポジションを明確にしていく。そのために運営推進会議への参加の呼びかけ等を工夫し、地域の方が毎回一人は参加できる様、環境を整えていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

【評価機関】

特定非営利活動法人VAICコミュニティアケア研究所